

TJCAS2021 参加報告書

群馬大学理工学府電子情報数理教育プログラム
小林研究室 修士2年 細野貴司

1. 参加学会

Taiwan and Japan Conference on Circuits and Systems (TJCAS2021)

http://nlab.ee.tokushima-u.ac.jp/nlab/tjcas21_top.html

2. 開催日

2021年11月20日(土)

3. 開催場所

オンライン

4. 参加学会について

TJCASは、日本と台湾の研究者が回路とシステムに関連する最新の結果についての発表や意見交換をするための場として、1年に一度開催されている。昨年度に引き続き、オンラインでの開催となった。

5. 発表タイトル

"Study on Peaking Current Source with Self-Bias Configuration Insensitive to Temperature and Supply Voltage"

6. 感想

オンラインでの学会も昨年から何度かやってきたので、発表することに段々と慣れてくることができた。とはいってもやはり発表になると緊張した。スライド発表は、時間の都合上早口になってしまったが、何とか発表を終えることができた。

質疑応答が一番の不安だったが、なんとか自分の知っている単語を並べることで、私が意図している内容を伝えることができたようで安心した。

Closing Ceremonyでは学生の表彰が行われた。今回、光栄なことに私も賞を頂くことが



できた。英語での発表が評価された経験は、今後の研究延いてはこれからの社会人生活に向けて貴重な経験になった。

7. 謝辞

TJCAS 参加にあたりご指導を頂いた小林春夫先生、普段から学会参加を支援して頂いている桑名杏奈先生、研究指導をして頂いている株式会社ジーダットの皆様、そして今回 TJCAS 2021 の開催を支えてくださった皆さまに深く感謝を申し上げます。

